

観光連盟だより

9~10
月号

壱岐な職場見学モニターツアー

9月13日（土）壱岐市への移住と移住者の雇用促進を目的とした「壱岐な職場見学モニターツアー」（商工振興課委託事業）が開催されました。当日は九州県内のみならず、関東方面からもご参加いただきました。今回のツアーでは、コスモファーム、マリンハビタット、平山旅館、大幸物産、ACB工房の5事業所を訪問。各社の取り組みや職場の雰囲気を間近に見ていただき、参加者の皆さまは担当者の説明に熱心に耳を傾けながら、積極的に質問されていました。

参加者からは「実際の働く現場を見ることでイメージが具体的になった」「地域の多様な企業の魅力を知ることができた」など、前向きな声が多く寄せられました。

壱岐市インバウンド受入体制強化モニターツアー

9月14日（日）・15日（月）の2日間、インバウンド受入体制の強化を目的として、訪日観光客への豊富な対応経験を持つ雅縁株式会社より通訳案内士10名をお招きし、モニターツアーを実施いたしました。

島内視察では、観光コンテンツの掘り起こしや磨き上げを図るとともに、ツアー中には講演会も開催し、壱岐の魅力や課題について多岐にわたるご意見を頂戴しました。

また、2日間の視察には島内ガイドにも参加いただき、壱岐の魅力を改めて再認識・再発見していただく機会となりました。加えて、視察中に交わされた通訳案内士からの意見・質問等を通じ、今後の受入体制強化に向けた多角的な視点を共有する場ともなりました。

今後増加が見込まれる海外旅行者の受入強化に向け、引き続き取り組みを進めてまいります。

壱岐市長杯・壱岐-福岡ヨットレース

福岡～壱岐間のヨットレースが博多ヨットクラブ主催の「壱岐市長杯・壱岐-福岡ヨットレース」が9月4日（日）に開催されました。19艇と100名を超えるセーラーが参加され、昨年を超える大会となりました。コースは博多湾・小戸沖がスタートで、壱岐・筒城浜沖がゴールの約27マイルです。9時スタートでタイムリミットが17時の中、無事にゴールできたのは13艇でした。

レース終了後には「筒城浜ふれあい広場レストハウス」にて表彰式&BBQ交流会が行われ、壱岐牛、海鮮、焼酎などに舌鼓を打ちつつ、交流親睦をお楽しみいただきました。来年度以降もより良いイベントとなるよう取り組んでまいりますので、ご協力の程よろしくお願ひいたします。

長崎くんち「長崎大縁日」

10月7日（火）から9日（木）に開催された「長崎大縁日」では、壱岐市からはACB工房、海坊主、壱岐の蔵酒造、キッチンカートロルの4事業者が出店しました。

長崎くんちの華やかな雰囲気とともに、壱岐ならではのグルメや体験を求めて多くの来場者がブースを訪れ、県外からのお客様にも壱岐の魅力を広く発信する良い機会となりました。

長崎県グリーン・ツーリズム研修会

10月9日（木）から10日（金）の1泊2日で、長崎県グリーンツーリズム推進協議会の実践者研修および交流会が開催されました。

1日目は対馬市・小値賀町の実践者から民泊受入の現状をご講話いただき、その日の懇親会では、新鮮な魚介類に舌鼓を打ちながら、会員同士で歓談に花を咲かせていました。

2日目は壱岐島内でのエクスカーションを実施。2コースに分かれて、壱岐島の名所や新たなコンテンツ等を視察していただきました。

今回は10年振りとなる、壱岐市での研修会および交流会の開催となりました。今後も県内の事業者等と連携し、受入の洗練化を図って参ります。

壱岐島うまいもんフェアinカホテラス

10月11日（土）～12日（日）の2日間、飯塚市カホテラスにて、観光物産イベントを開催いたしました。壱岐市からは5店舗が出店し、特産品の販売・ガラポン抽選・人面石くんによる壱岐のPRを行いました。壱岐の食や観光に関心を寄せられている方と触れ合うことができました。今後とも観光物産イベントを展開し、壱岐産品の普及・観光誘致へつなげて参ります。



さくらの会花植え

10月18日（土）、壱岐ウルトラマラソン開催に伴い10月15日（水）に郷ノ浦港周辺の花を植え、港の景観を整えました。ベゴニア・金魚草・パンジー・ナデシコ・マリーゴールドなど色とりどりの花が咲き揃っています。本会では、壱岐の観光活動の助力に一層努めるとともに、新規会員を募集しております。詳しくは当連盟までご連絡ください。



にっぽん丸入港

平成21年から約17年間にわたり本市へ寄港していた大型客船「にっぽん丸」が、10月22日（水）をもちまして壱岐への最後の入港となりました。（にっぽん丸は2026年5月にクルーズ船を引退）

当日は乗客324名が来島、島内観光を楽しみました。また、市民を対象とした船内見学会も実施され、多くの参加者に大変喜んでいたなきました。見送りの際には、壱州荒海太鼓部による太鼓演奏と、渡良漁師会のご協力のもと大漁旗を掲げた漁船パレードを実施し、壱岐らしい温かい雰囲気の中で最後の寄港を締めくくることができました。今年度の客船寄港につきましては、来年3月に外国船籍の寄港を予定しております。引き続き、関係団体との連携を図りながら、受入体制の強化と質の向上に努めてまいります。

久留米市コスモスフェスティバル

10月25（土）・26日（日）にコスモパーク北野で開催された「久留米市コスモスフェスティバル」では、県外からの出店は珍しく、壱岐市のブースにも多くの来場者が足を運びました。来場者の中には壱岐や対馬の出身者もいて、懐かしさから声をかけてくださる場面もありました。また、人面石くんも登場し、写真撮影を楽しむ親子連れで賑わうなど、会場で大人気となりました。コスモス畑の中で、壱岐の魅力をしっかり発信できる2日間となりました。



「壱岐の島」海洋プラスチックごみクリーン作戦・ごみアート展とエコツーリズム大会

10月25日（土）、壱岐夢俱楽部（坂本代表）が主催する標記イベントに参加しました。イベントには、韓国からのお客様と市内外の中高校生含むボランティアが参集、当日は風が強く肌寒かったですが、たくさんのゴミを協力して集めることができました。

およそ2時間の活動ではありましたが、集まったゴミの量に驚きを隠せませんでした。このような活動を通して、今後も壱岐の美しい景観を保全できるよう努めてまいりますので、会員皆様のご協力もよろしくお願ひいたします。

令和7年度壱岐市モニターツアー

旅行会社の皆様に島の観光素材をより深くご理解いただくことを目的として、10月29日（水）・30日（木）の2日間にわたり観光商談会およびモニターツアーを開催いたしました。全国から多くの旅行社の皆さんにご参加いただき、壱岐の歴史や伝統文化にも触れていただき壱岐の魅力を存分に知っていました。

石田改善センターにて開催した商談会では地元観光事業者との意見交換を実施し、旅行商品造成に向けた有意義な情報交換が行われました。また、夕方からは壱岐市湯本支所にて意見交換会が行われ、壱岐牛や新鮮な海産物などの郷土グルメを囲みながら市内事業者との活発な交流がおこなわれました。ご参加いただいた旅行会社の皆様には、実際に島をめぐりながら今後のツアーコース造成に向けて多くの建設的なご意見を頂戴する機会となりました。

TV番組放送のお知らせ



- 番組名
松永安左エ門生誕150年記念番組 「長崎偉人伝 電力の鬼と呼ばれた男 松永安左エ門」
- 放送局
NIB国際テレビ（放送エリア 長崎県）
- 放送予定
11月30日（日）17時～ 30分番組

一般社団法人

壱岐市観光連盟

長崎県壱岐市郷ノ浦町本村触620-1
0920-47-3700
<https://www.ikikankou.com/>

